

第33回

2010丹沢クリーンハイク報告集

5月29日(土)～30日(日)

神奈川県勤労者山岳連盟



【後援】神奈川県、丹沢大山クリーンピア21

【協賛】丹沢自然保護協会、丹沢ブナ党、丹沢ドン会、丹沢ゴミ調査会、秦野の自然と環境を守る連絡会、伊勢原の自然と環境を守る連絡会、尾瀬の自然を守る山ゆりの会、相模川キャンプインシンポジウム、グリーントフ(神奈川県自然観察指導員連絡会)、神奈川の自然と環境を守る連絡会(神奈川グリーンネット)、神奈川大学ワンダーフォーゲル部、NPOみろく山の会(順不同)

「2010丹沢クリーンハイク」

平成22年5月30日 クリーンハイク実行委員長 渡辺 三男

2010年丹沢クリーンハイクは、前夜祭から23名が参加し、アコーディオン奏者の演奏で大変盛り上がりました。クリーンハイク当日は、残念ながら前日の気象情報の降水確率が60%以上ということで林道コース以外は、中止としました。

急遽変更したにもかかわらず、林道コースには、多くの会から参加がありました。

戸川林道に30名、西山林道に23名、くぬぎ山コースや他のコースにも20名と合計で73名の参加者がありました。実行委員や救助隊のメンバーを加えると総勢約90名となりました。回収したゴミの量は131kgでした。

このことから、清掃活動に関わろうという参加者の意識の高さを感じるとともに、雨天時においても実施を望む会員が多いように思われます。

過去にも、何回か雨天時の実施の有無について対応を迫られる事がありましたが、今後も一般参加者を含めての実施有無の判断と、雨天時計画の検討もしたいと考えています。

今回新しく加えた不動尻コースは、地元町内会や自治体の期待も鑑みて、秋ぐらいをめぐりに実施を検討していきたいと思います。

第33回 2010丹沢クリーンハイク清掃集計表(計集、柴笛クラブ・吉崎)

清掃場所	会の名称	参加人数	可燃ごみ	不燃ごみ	合計
戸沢林道	みずなら山の会	10	6.5	13.5	20.0
	雪童山の会	1	0.65	1.35	2.0
	横浜こぶしの会	7	4.55	9.45	14.0
	地平線の会	5	6.95	2.8	9.75
	山ブキの会	1	0.65	1.35	2.0
	アルパインクラブ横浜	2	0.3		0.3
	相模アルパインクラブ	1	0.65	1.35	2.0
	カモの会	4	2.6	5.4	8.0
西山林道	藤沢山の会	16	20.3	23.0	43.3
	神奈川大学ワングル部	5	1.6	11.4	13.0
	柴笛クラブ	1	1.2		1.2
	一般参加者	1	0.6		0.6
ヤビツ峠	川崎ハイキングクラブ	1		0.15	0.15
	山ブキの会	1			
大倉高原堀山	横浜ハイキングクラブ	6	1.5	1.35	2.85
上秦野林道	山ゆりの会	8	1.75	11.05	12.8
総計		70	49.8	82.15	131.95

2010丹沢クリーンハイク参加者数

スタッフ= 総計、123名

本部= 12名 救助隊= 12名 水質= 29名 清掃= 70名

2010年丹沢水質調査報告

神奈川県勤労者山岳連盟自然保護委員会

5月29日(土)に実施しました丹沢水質調査は、曇り夕方からときどき小雨の天候でしたが、無事に終えることができました。ご協力いただいた会の皆様、有難うございました。

今回は、若干の沢のデータがうまくとれませんでした。湧水はどれも陰性で大腸菌は検出されませんでした。

また、今回も大腸菌のほかにイオン(NO3-, NO2-, NH4+, Ca2+, Mg2+, Al3+, Fe, Cl-)濃度やCOD、pH、濁度、色度なども調べてみました。ほとんどのものは基準値以下でしたが、昨年と同様に、色度の高い試料があったので色度も表に載せました。特に、一の沢ツメは昨年(11.5)よりも上がっています。水道水の場合は、一応水質基準が色度5度以下となっています。これから梅雨に入ると、動物の糞尿も含め、いろいろな有機物が沢に流れ込むことも予想されますので注意が必要です。さて、来年は神奈川労山が丹沢の水質調査をはじめて20年になります。この間、大腸菌などの検出技術はめざましく進歩してきました。おかげさまで、分析の精度は良くなりましたが、沢の水質が徐々に悪化している現状が明らかになってきています。しかし、この大切な丹沢を守るために、自分たちにできることをしていきたいという皆様のお気持ちに支えられて、この調査がここまで続けられてきたと思います。

今年は特に、水温の測定やら、イオン調査用の採水やら、めんどくさいことをお願いしましたが、気持ちよく引き受けていただき、ありがとうございました。

来年の水質調査にもぜひ、ご協力を宜しくお願いいたします。

採水日：2010年5月29日(土) 天気：曇りときどき小雨(前日晴れ夜小雨)

場所	大腸菌	色度	場所	大腸菌	色度
水無本谷(出合い)	陰性	1.0	一の沢(ツメ)	陽性	13.5
水無本谷(ツメ)	陰性	0.0	一の沢(取水口)	陽性	5.5
源次郎(出合い)	-	1.5	見晴茶屋	陽性	-
源次郎(ツメ)	-	0.0	見晴水場(東南斜面)	陰性	-
勘七の沢(出合い)	陽性	1.0	大倉高原山の家	陰性	5.5
勘七の沢(ツメ)	-	-	塔ノ岳(流水)	陰性	0.0
後沢乗越の水場	陰性	0.0	大山春岳沢の水場	陰性	0.0
葛葉の泉	陰性	0.0	ゴマ屋敷水場	陰性	0.0
竜神の泉	陰性	0.0			

測定温度 19.2℃
 理化WAPTDG
 色度…デジタル濁度計共立
 (∴検査なし)
 (財)新日本検定協会
 計量の対象「大腸菌/100ml

5月29日(土) 水質調査担当者と参加者数 29名

場所	担当者	参加人数	場所	担当者	参加人数
水無本谷(出合い)	雪童山の会	7人	一の沢(ツメ)	地平線の会	4人
水無本谷(ツメ)			一の沢(取水口)	緑と星山の会	
源次郎(出合い)	みずなら山の会	9人	大倉高原山の家	横浜ハイキングクラブ	3人
源次郎(ツメ)			塔ノ岳の水場		
勘七の沢(出合い)	藤沢山の会	3人	大山春岳沢の水場	藤沢山の会	1人
勘七の沢(ツメ)			ゴマ屋敷水場		
後沢乗越の水場(沢)	横浜ハイキングクラブ	2人	葛葉の泉		
			(竜神の泉流水)		

水質調査参加者

(雪童山の会)岡崎・小緑・樋浦・宮本・神谷・黒井、(みずなら山の会)平林・森・安江・関・ほか、(藤沢山の会)太田・中河原・池田・木村、(横浜ハイキングクラブ)高橋・長井・関根・宮原・伊藤、(地平線の会)鈴木・磯部、(緑と星スキー山の会)北野

5月29日(土) 見晴茶屋前夜祭参加者

(小田原ナーゲル山の会)森谷、(藤沢山の会)高橋・萩原・太田・池田・中河原・木村・神山・角田・角田、(地平線の会)磯部・石田・鈴木・山下・上野、(横浜ハイキングクラブ)関根・伊藤・渡辺・宮原・長井、(みずなら山の会)千葉・小川・藤本、(やま++)柴田、(川崎労山)森・小林、(山ブキ)青柳

丹沢山域水質調査結果 (過去 19 年間の推移)

地図	A	B	C	D	I	J			K	P	E	F	L	M	N	O	
採水場所 年月日	水無本谷出合	水無本谷ツメ	源次郎沢出合	源次郎沢ツメ	勘七の沢出合	勘七の沢ツメ	一の沢取水口	一の沢ツメ	見晴水場	大倉高原山の家	後沢乗越水場	竜神の泉・湧水	竜神の泉・流水	塔ノ岳水場	葛葉の泉	春岳沢水場	ゴマ屋敷水場
2010/5/29			-	-	-	-						-					
2009/7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-						-		
2009/5/30												-					
2008/5/24													-				
07/5/26											-						
06/5/27																	
05/5/28				-													
04/5/29	2	1	9	1	5		戸沢出合	戸沢ツメ	-	1	1			51			
03/5/24	9	2	11	2	4		戸沢出合	戸沢ツメ	-	3							1
02/5/25									-								
01/5/26									-								
00/5/27									-								
99/5/29									-						-	-	
98/5/30									-						-	-	
97/5/24									-						-	-	
96/06									-						-	-	
95/6/04									-						-	-	
94/6/05		-							-						-	-	
93/6/13	-	-		-					-						-	-	
92/6/14	-	-		-					-						-	-	
91/6/09	-	-	-	-					-						-	-	

《不検出(陰性)、検出(陽性)、調査無し》 計量の方法「上水試験方法
 計量の対象」大腸菌/100ml (2005) 2010年)
 大腸菌群数/1ml (2003) 2004年)
 大腸菌群/50ml (1991) 2002年)
 計量依頼先「(財)新日本検定協会(1995) 2010年)
 (株)日本環境クリエイト(1991) 1994年)



1986年～2010年のゴミ集計

年	1986	89	90	91	92	93	94	95	96	97	1998	1999																
月	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5																
日	8	4	3	9	14	13	12	28	26	25	31	30																
	可燃物	不燃物		可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計																
戸沢林道				16	23	39	118	319	436	(+大倉尾根)	245		133	26	27	53	27	196	223	280	14	294		202	332	534		
大倉尾根				39	52	92				(+三ノ塔)	239		25	140	165	16	171	187						19	128	147		
西山林道													16	35	51	70	284	353						68	82	89		
県民の森				142	543	685													21	145	166							
塔/岳				109	81	189				(オバケ沢)	358	(オバケ沢)	292															
丹沢山													20	130	150													
大山													88	61	69	23	60	83	34	89	123	34	100	134	41	246	287	
日向薬師																												
十六丁目																												
岳/台													52	2	7.2	27	103	130	9	34	43	42	75.9	118	92	31	122	
二塔							0	170	170				102	69	218	224	0	619	619	6	341	347	17	1015	1032	10	140	150
三塔				44	77	121	11	45	55		120		2	54	56	8	192	200	15	54	69	85	28	36.5	6	11	17	
新大日				33	13	46							5	77	82	2.2	65	67	0.5	50	51	26	302	305	22	147	169	
鍋割山																												
くぬぎ山																												
ヤビツ峠													8	87	95													
その他						45			161									45										
ゴミ量	22袋	23袋	200	326	1217.15		822		722		778		953		1905.6		1098.3						16245		1513.1			
参加者(名)	84	134	84	487	169	219	248	199	372	243	322	362																
	9団体	みろく山の会 32名		HAT-Jと共催	N02調査開始 自然保護団体の参加 前夜祭、シンポジウムに大沢氏(丹沢自然保護協会)、梶谷氏(丹沢ブナ党)参加	丹沢大山クリンピア21に加盟 前夜祭、シンポジウムに梶谷氏・鈴木澄雄氏(丹沢ブナ党)参加 ブナ観察会 大学WV参加(神奈川県)	森の集会と共催 前夜祭、シンポジウムに白鳥氏(丹沢自然保護協会)和田氏(森の集会事務局)参加 ブナ観察会 大学・高校WV参加(神奈川県)	前夜祭、シンポジウムに奥野氏(丹沢自然保護協会)参加 ブナ観察会 報告書作成	朝日新聞に掲載し、過去最高の参加(内一般143名) 報告書作成 行政との話し合い(96年11月)	行政との話し合い(97年2月) クリーンハイク実施後の行政への提案(山小屋の廃材、ゴミ処理の具体策を要求) 大日小屋の集中清掃の実施(ミニクリーンハイク)10月19日 ゴミ回収のため県のヘリが飛んだ	大山、表尾根コースに集中二ノ塔廃材は回収がほぼ終了した 大学、高校生の参加が増えている	新大日、二ノ塔の集中清掃を実施																

2000			2001			2002			2003			2004			2005			2006			2007			2008			2009		
5			5			5			5			5			5			5			5			5					
28			27			27			29			30			29			28			27			25			31		
可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計			
28	179	207	90	215	305							0	7.9	7.9	17	23	40	15	16	31	2	0.2	2.5	10	41	51	0.1	6.3	6.4
74	234	308	33	418	451	60	152	212	10	73	83	25	217	243	28	161	189	23	104	127	16	68	84				0.2	52	52
																	0							2.7	15	18			
4.5	6	11	10	40	50							7	13	21	14	19	33	14	80	94									
																	0	1	14	15	5	31	36				1.2	12	
															6.5	26	32	15	38	53	2	26	28				15	15	
12	21	33	22	56	78	57	152	209	84	139	222	25	123	149			0				11	66	77				2	14	16
									0	29	29	2	6	8			0				2	5.1	7.5				3	5	8
									29	339	368						0												
			54	43	97	29	41	70	18	71	90	39	71	110			0				16	108	124				5	31	36
						51	80	131	13	29	42	16	10	26	5	3	8	3	6	9	2	18	20				4	4	
						4	18	22	11	58	68	12	18	30	35	48	83	9	6	15	9	47	56						
			45	100	145	14	105	145	5	50	56	6	36	42	9.5	25	34				4	56	60				0.2	17	17
															4	9	13	7	6	13	1	4	5				0.7	8.7	9
															3	6	9	14	9	23	8	16	23	9.4	6.9	16		28	28
16	16	31	6.2		6.2	0	78	78	0	40	40						0										14	2	16
			49	155	204							4	36	40															
589.5			1405.5			871.5			1107.2			675.7			441			379			523.6			84.8			207		
178			254			351			353			348			380			253			400			85			333		
雨のため規模を縮小、林道を中心に清掃を実施した 新大日、二ノ塔の集中登山を実施(みろく山の会と共催)			雨のため規模を縮小、林道を中心に清掃を実施																					一般参加者は雨天のため中止。林道清掃。粗大ゴミは市に報告。					

上秦野林道の終点から県民の森コース

山ゆりの会（尾瀬の自然を守る山ゆりの会）

参加者：稲本 大野 和田 豊留 田村 神保 加藤(良) 草野（8名）

クリーンハイキングを終えて

新松田よりバス、車窓の外は緑いっぱいの里山の風景。程なく寄に到着。山ビル対策のスパッツを装着。山ゆり入会時には手間取っていたスパッツも、難なく着ける事が出来るようになったな～なんて思いながらクリーンハイクへ出発。ここ数年同じコースなので、何年も前は雨がすごく降って道が滝のように流れていたとか、諸々思い出話に花が咲き...茶畑の間の道には捨てられたゴミは殆どなく、私はまだ空のゴミ袋をぶらぶらさせながらくぬぎ山への登山道へ足を進めて行きました。

登りの途中でコース変更になり山頂へは行かず、上秦野林道の終点から県民の森へ。そこで見つけました！野生のエピネランを。このクリーンハイクに参加すると、私にとってその年毎にお初の物が見れるので、ゴミを拾う事より新たな出会いがあるのを毎年楽しみにしています。そして今回は変種も発見？フタリシズカの花穂が倍の4本咲いていたのを見て、私たちオバサンを見ながらK氏が命名。それは「カシマシ草」だと！

昼食後、終点地大倉目指して歩き始めると、林道下に大量のゴミ発見。なぜか山ゆりの男性は、林道下の崖に捨てられたゴミを見ると、若き血潮と正義感が湧いて来るのか！果敢に崖下へ。あっという間にゴミ袋いっぱいの缶、瓶、ペットボトル等。大きなオイル缶も拾い大倉到着。本日の成果ゴミと一緒に記念撮影でクリーンハイク終了。適度な歩きと森林浴そして解散後に飲んだ生ビールの美味しかった事。来年も又参加しようと思った1日でした。（稲本なお子）

今回のクリーンハイクは、前日の天気予報により中止、参加者は林道のみで実施するとの連絡が主催者から当日朝あり。実際の天気はくもりで、気温も低くクリーンハイクには快適な天気であった。山ゆりはほぼ予定通りに実施。県民の森の下、上秦野林道でカン、ビン、ペットボトルなど15kgほどを回収した。

県民の森では、ヤマビルの大歓迎を受けたが、あまり新鮮な血ではないせいか実害はなかった。（K）

2010			総計	年
5				月
30				日
可燃物	不燃物	計		
23	35	58	2663	戸沢林道
1.5	1.4	3	2541	大倉尾根
24	34	58	946	西山林道
			938	県民の森
			890	塔ノ岳
			278	丹沢山
			1479	大山
			52	日向薬師
			368	十六丁目
			946	岳ノ台
			2883	二ノ塔
			948	三ノ塔
			1591	新大日
			40	鍋割山
1.8	11	13	112	くぬぎ山
	0.2	02	349	ヤビツ峠
			545	その他
132			17479	ゴミ量
94				参加者
雨天のため一般参加者は中止。林道を清掃				kg以下は四捨五入





「藤沢山の会」西山林道コース

清掃参加者

CL角田正、清水、池田、大井由、中河原、角田淑、神山、安藤、木村、太田、高居、佐々木愛、大野、加藤、大井工、萩原、高橋（大倉本部）計17。他6名

水質調査参加者

池田、太田、中河原、木村、計4名 他1名

リーダー所感

角田正夫

今年は天気恵まれて欲しいと念じていたのですが、残念ながらその声は届かなかったようです。降水確率60パーセントで見晴茶屋から自由参加連絡をした時は、2年前のことを思い出してしまいました。その分、見晴茶屋で登山の他の会の人と一緒に歌声を楽しめたのが雨で沈む気持ちを和ませてくれました。

しかし翌日はなんと雨天予報にもかかわらず17名の参加があり、また一般参加1名と、神大ワングル部の若者5名の参加もあって総勢22名でのゴミ回収になりました。そして予想外の大量ゴミとの遭遇もあって、まだまだ、山にはゴミがいっぱいあると実感できたクリーンハイクとなったように思います。

参加者の皆さん本当にお疲れ様でした。

行動経過

角田正夫

開会式の後、大倉尾根から変更になった西山林道を二俣に向かう。心配された雨も降らず、ビルも予想したほど障害にならず二俣手前のゲートに着く。ここで一息いれて帰着時間を考慮して往路を戻る。帰路、林道脇の人目に付かないところに大量の缶や壺などのゴミを見つけ皆で手分けして回収したが、全部回収できないほどあった。

会員持参の背負子に助けられ大倉に戻る。なを、私たちと同行した神大生が4歳の鹿の立派な角を拾い思わぬ拾い物になったことも付記しておきます。

参加者の感想

大野淳子

悪天候のため自由参加となってしまいましたが、雨には降られず暑くもなく、歩くのにはちょうどよい



西山林道下に捨てられた工事用備品



西山林道に大量に投棄された家庭ゴミ拾う前

西山林道に大量に投棄された家庭ゴミ持てるものを拾った後



焼き殺したヤマビル3匹

日でした。登山道が中止となりましたので西山林道の清掃となり、藤沢山の会の他、一般参加の方1名と神奈川大学ワンゲル部の方5名で出発しました。

歩きながら見たところではアメの包み紙がちらほら落ちていた程度でしたが、道路の脇や人目につきにくいところには空き缶がまとめて捨てられていたり、日でした。登山道が中止となりましたので西山林道の清掃となり、藤沢山の会の他、一般参加の方1名と神奈川大学ワンゲル部の方5名で出発しました。

歩きながら見たところではアメの包み紙がちらほら落ちていた程度でしたが、道路の脇や人目につきにくいところには空き缶がまとめて捨てられていたり、産廃ゴミのようなもの、家庭ゴミのようなもの、いろいろ見つかり、運びきれないものは写真を撮りました。林道なので、登山者でなく車で捨てに来ているようです。

いつも元気をもたらしている山をきれいにするのは嬉しいことですが、登山者であってもなくても、山でも街中でも、この頃ゴミが落ちていることに鈍感になっていたように思います。反省しつつ、最後はやはりビールで乾杯！ 充実した1日を過ごすことができました。

参加者の感想

神山 巨弘

クリーンハイクを前日は前夜祭から参加しました、見晴茶屋に着くと水質調査のメンバーが既に到着しており懇親会は始まっておりました。飲んで食べて程ほどの頃合になると歌集が配られプロのアコーデオン伴奏による「歌声」が始まりました。山の歌、ロシア民謡、等々懐かしい歌声喫茶の雰囲気を楽しんでいるうち2時間・3時間と瞬く間に過ぎ、消灯時間まで歌い続けているグループもあり、さすが山屋は元気だなと関心しましたが、小屋が貸切だったので許されたのでしょう。

翌日のクリーンハイクは天気予報の結果、有志による林道に変更になり、藤沢山の会は西山林道を割り当てられました。人通りの少ないコースなのでゴミは少ないだろうとタカを括っていたところ、なんと結果は40kgを超えるゴミを集めました。

水質調査採水の感想

「勘七の沢」

池田 昭雄

太田、中河原、池田の3名で「勘七の沢」を担当。出会の水を採水後、沢に入る。前日の大雨で沢が増水し、沢の遡行が不可能になり引き返した。花立山荘裏からツメに下降して取水する試みも失敗し、今回は非常に残念だったけれど、出合だけの取水になってしまった。

「春岳沢」「ゴマ屋敷」「葛葉の泉」水場

木村 久子

県連で採水をしてくれる会がないとのことで、藤沢山の会がすることになり急きょ担当することになりました。本来ならトレッキングしながらのコースですが、急でメンバーも組めず、娘と車で採水してきました。

最初は春岳沢より採水、蓑毛キャンプ場まで軽自動



西山林道下に投棄されたバッテリー



計量風景



勘七の沢 F1で採取した水

CHに参加した藤沢山の会と神奈川大学5名の皆さん



林道横草むらの中に沢山のゴミ



車でソロソロ入って駐車。杉の枯葉が積もってスリッ
プしそう。次にゴマ屋敷に向かうヤビツ峠越えは濃霧
とガスでここもそろそろ走る。ゴマ屋敷の水場は人気
で4台の車が来ていましたが短時間で取水し、最後の

菩提の葛葉の泉では幸い空いていたので簡単に採水で
きました。歩けば一日かかりますが、車利用で何とか
役目を果たせました。

みずなら山の会

< 自然保護委員所感 千葉雅子 >

今回、実行委員としては初めて水質調査、本部の仕事
などのお手伝いをさせて頂きましたが、準備や連絡そ
の他実行委員会の皆さんのご苦労がわかりました。ま
た、雨のため、前夜祭に急遽、会から3人加えて頂き、
美味しい料理を頂きながら、山の歌を歌ったり、他の
会の方々と交流できてとても楽しかったです。

水質調査は、源次郎沢に会から4人が参加し、お天
気が良くなって心配だったのですが、無事に採水でき
て良かったです。ただし、私の説明不足で水質のサン
プルが一部採水できなかったのも、申し訳ありません
でした。来年は失敗の無いように、採水方法を十分説
明したいと思いました。また、採水地点の状況を知る
ため、画像を撮れば良かった。源次郎沢では、足元の

ソックスに蛭が3匹ついていましたが、刺されな
かったそうです。また、女性1人が、ダニに頭や体を
7、8か所刺されたと言っていました。





クリーンハイクは、雨の予報でも林道の清掃は実施することに決めていたので、みずならからは当初の予定の殆どが参加してくれました。他の会の方々と一緒に行動し、ゴミも大量に回収することができたので、大倉に帰って来た時は、皆、充実した晴れ晴れとした顔をしていました。反省点としては、ゴミを回収するときは、最初から可燃物と不燃物を別々の袋に入れることにしておけば良かった事。また、不法投棄の崖下のゴミの取り扱いをどうするかなど実行委員会の課題もあると思いました。

<参加者の感想1>平成22年5月29日(土)源次郎 沢水質検査サンプル採水

参加者；L平林、森、安江、関(記)

コースタイム；戸沢8：40 F1 8：55 F4 9：20 F5 9：40・10：10 大倉尾根 11：55 戸沢13：00

オーイ(^o^)/沢組ド～すんの？前日の夜会長からの一報であった。天気予報は雨・確立50%である。止めておこう。中止メールを姫ちゃんから流してもらおう。俺って休日はメールが使えない。会社のPCアドレスを会に登録してある。こんどYahooのアドレスに変更してもらおうかな？

バリエーション組は予定通り実施するって！沢は雨だとな～・まして人数多いし！

みんなには悪リィ～って思ったけど、水のサンプルは採取しないとイケナイので行ってきました！メンバーはみずなら精鋭？の4名。

先日から、雨が充分降って下はズブズブ状態。沢装

備つけてさあ出発、とたんに入渓口を間違えそうになる！大丈夫かよ・・・先がなんとなく???

Fallを超える毎に現在地確認！さすが精鋭部隊！F5でロープを出す。えらく順調、なんてこたぁない。F5クリアーここで大会議が勃発。二股の位置が解らない。確か右に見える大きな滝は越えなかったヨ！だけど地図は右に行けって言ってるよ！え～いこは真っ直ぐだ！ってことになり突き進む。とにかく真っ直ぐが好きだ！

正規ルートは850m辺りの二股を右に進むんだけど、めっちゃガスっていたし、寒いし、何度も来てる人がいるし、言い訳言わせてヨ！これが今回の悲劇の始まりだった。

おっ！ここは、おっかしいな。踏み後ないし・F6の枯れ滝も無いよ！キット台風なんかで変わったんだな！勝手な解釈・ゴタクを並べて登る。結論は、ただどこまで来たらヤッパ真っ直ぐ進むっきゃないよ。雨でズブズブ状態のガレ場の超々急登。1歩進んで2歩下がる？ヨツンパイで進む！落石の連発。「ラク」声が枯れた。

おい水が無くなるよ！目的を果さないとな！詰めのサンプル取水完了！

どんどん進む！ふと上を見上げると「お化け」青白い髪の長いやせ衰えた少女が両手を挙げて岩に寄り添っている！

皆ケッコウ冷静でホントに見えるヨ！発見者の姫ちゃんが浮いちゃったか？しかし、気味悪いモン見ちゃったな！今でも脳裏にハッキリ浮かんでくる！あ～あ。。。俺弱いんだ。こ～ゆーの！いい加減苦勞してヤット登

山道に這い上がった。「人」発見、あの～花立山荘はこの上ですよ？「そうです」って！ヤッパな～。全員で沢の詰め？は、こんなもんだよな～ってか。こんど晴れてガスって無い時にリベンジしようって事にナツタ。読図の難しさを嫌って言う程知らされた。皆の衆、今度はキチンと行こうな！

<クリーンハイク参加者の感想>平成22年5月30日(日)

参加者；L小川、阿部、岡田、高橋、横手、藤本、田村、末吉、川島、佐藤(克)(記)

(本部)中山、平林、千葉

コース；戸沢林道

丹沢クリーンハイクに、みずなら山の会の一員として初めて参加させて頂きました。私達は大倉～戸沢林道～戸沢山荘～戸沢林道～大倉の間で清掃を行いました。林道の周りはペットボトルなどが落ちていて、一番大きなゴミは車のホイールが一枚、落ちていました。思っていたよりキレイです。戸沢山荘に着き、その周りの清掃を始めるとゴミがあるある。もう土の中にビールの空き缶やペットボトル、ビニール袋が植物の根と一体化しています。取り出そうとすると土を深く掘り、根っこを掘り起こさなければなりません。こんなになるまで放置されていたとは……。軍手は既に真っ黒。そして作治小屋の下に行くともっと凄い事に。4L位のペットボトルやビニール袋、空き缶、タバコの吸殻、割り箸、4,50Lのバケツ、ガラス瓶、割れたガラス瓶もたくさん、危険です。貝殻もたくさん、……。ここは貝塚かっ！このゴミ達は上から捨てられたのでしょうか？もうキリがありません。ブルドーザーか何かで土ごと掘らないと。キリ？がいいところで、ここの清掃は終了して大倉に戻り始めました。林道の周りは、登りの時に拾いましたので、そんなにありませんでした。しかし、崖下をのぞくとゴミがたくさん。



車のタイヤ？、ホイール？も落ちていました。ビニール袋、ペットボトルはもちろんです。拾いにはいけません。これは明らかに捨てたものだと思います。どうすればいいのでしょうか？戸沢山荘の周り、崖下、このあたりのゴミを何とかしなければ。私達だけではどうしようも出来ません。以上

丹沢クリーンハイク報告/カモの会 永井慈子

雨天中止のため、参加は任意とし最初の参加予定の10人(塔ノ岳9人、不動尻1人)の内、3人(井戸、太田、児島)+実行委員の永井の4人が参加した。永井はヤビツ峠の受付予定だったが、今回なくなったので、林道清掃に参加した。

戸沢林道清掃になったが、雨はほとんど降らず過ごしやすかった。駐車場近くの小屋の下辺りにかなりの食べ物系、ペットボトル、ガラス瓶、アルミホイール、などのゴミが多くあった。

参加してくれた3人は過去に参加したこともあり、大体の流れを把握しており楽しんでもらえたようだ。ただ以前カモの会では、クリーンハイクは会員全員参



戸沢林道、作治小屋下のゴミ

加だったので、現在の(雨天の場合)任意参加という形態に疑問を持つ人もいた。改めて会としてどうクリーンハイクに取り組むのか話しあいたい。今回初めての実行委員だったので、慣れないところを皆様に助けていただいた。

塔ヶ岳・高原山の家水場水質採水報告

横浜ハイク（高橋・長井・関根 記）

朝から小雨交じり時折パラパラと降り、霧が掛かって白い煙の中にみずみずしい緑の木々。

紫色・朱色のつつじと悪天とはいえ歩くにはそれ程、気にはならなくてゆっくり歩きました。

今回 2 度目の塔ヶ岳水場。

前回もそうだったのですが、山頂から 15 分位下ったところ迄の道が荒れていますが、いままでの大倉尾根と雰囲気が変わり草花が多い山道で、水場は未だか

な～って思う頃にテーブルが置いてあり、その先に以外と水量のあるホースが見えます。ただ指示された箇所バルブのところはビニール袋がしっかりかぶさって大小の小石が置いてあったので現在は使えないのかと判断しました。

山頂に戻って尊仏小屋のおじさんに念のため聞いてみると、そこは小屋専用に使っているとのこと、ホースから出ている水も同じだよって言われました。

高原山の家の水場でも小屋のおじさんが怪訝そうに見ていました。

今年もきれいな水でした、という報告が出ると良いなあって思います。

大倉バス停を 8 時 35 分に出発。

塔ヶ岳山頂 12 時 10 分。

水場 12 時 25 分～ 40 分。

山頂 12 時 55 分～ 13 時 35 分。

高原山の家 15 時 20 分。

大倉バス停 16 時 20 分

下り道は滑らないように気を付けたせいもありますが、水の受け渡しが遅くなってしまい担当の人に迷惑をかけてしまいました。

塔の岳水場採水



塔の岳水場不可



水採取 塔の岳



後沢乗越水温測定



後沢乗越水採取



クリーンハイク 堀山コース

「朝起きて、雨が降っていなければ出かけよう」と心の中で決めて当日 参加しました。

ちょうど良いメンバー数でコミュニケーションも取れ、ほかのクラブの 中に懐かしい顔を見る事も出来ました。

楽しい一日に感謝します。皆様、ご苦労様でした。

横浜ハイキングクラブ 濱谷

昨年末に入会し、県連のクリーン山行に初めて参加しました。

ゴミを拾いながら堀山までの山行でしたが、久しぶりに社会に貢献したような気持ちになり、また、いい気分で渋沢のラーメン屋でのビールの美味かったこと。

有り難うございました。

横浜ハイキングクラブ 内田和夫



堀山小屋前



堀山コース



堀山コース



堀山コース



堀山コース



堀山コース

【横浜こぶしの会】

2010/05/31

第33回丹沢クリーンハイク、5月30日(日)曇り

5月30日(日) あいにくの曇り空の
 天気で大倉バス停に集合 AM8:30

前日降水確率50%という事で
 「横浜こぶしの会」ヤビツ峠→二の塔
 →大倉コースを林道掃除に変更になり
 参加人数7名様協力を得る事が
 出来ました。

気象関係を調べた結果雨が降らない頃が
 分っていたが去年と同じコース戸沢林道
 のクリーンハイクとなりました。

毎年同じ場所をクリーンハイクする事で
 分って来た事は丹沢地域が徐々に
 綺麗になっている事が実感しました。

ゴミの質が年代物が少なくなって来た
 事と、まだ残念な事に最近食べた
 コンビに弁当などの残骸が多く見られ
 ました。

当然クリーンハイクは清掃そのものですが
 真新しいコンビニ弁当ゴミを見ると
 啓蒙活動にも力を工夫するべきと
 痛感しました。

事務局の三上さんも出迎えに来てくれ
 ました。

電話の対応が大変な今回かと思
 いました。

事務局関係者ご苦労様でした。

今回は山岳関係者との会話を持つ事も
 出来ましたので優位意義な時間、
 情報交換を持つ事が出来ました事は
 労山としての繋がり、良い組織力の
 現れと思います。

参加者：渡辺、南雲、政田、高橋
 石渡、石川、渡部、
 三上(事務局)



8:20 受付風景



9:05 ゴミ袋には結構ゴミが。。



事務局三上さんと最後にパチリ。



県連からの全員写真

2010丹沢クリーンハイク

5月29日 一ノ沢水質検査
5月30日 塔ノ岳周辺までの観察と清掃

地平線 & 山ブキ & 東京都連メンバー（鈴木、石田、磯部、植田、青柳、上野、山下）



一ノ沢貯水口



*手袋をする。



*スタンバイ



*採水



*水温をはかる



*一ノ沢のツメの採水



*見晴茶屋南東斜面湧水

一ノ沢水質 5月29日(小雨)

一ノ沢は四十八瀬川水系の沢で、大倉尾根下部の西側を流れている。樹林におおわれて薄暗く、黒いごつごつした岩、さらにヤマビルの生息地なので楽しい遊行は望めない。が見晴茶屋と大倉高原山の家の水源になっている貴重な沢でもあるので、水質検査の試料採取のために、ヤマビルとのバトルを覚悟しつつ遊行した。

見晴茶屋の水源管理道（大

倉尾根西面のトラバース道で難路)を歩いていくと、昨年は無かった整備された遊歩道が現れた。5月23日に行われた全国植樹祭の一環なのかな?大倉尾根から水無堀山林道へ続いているらしい。この新道を横切ってからもう少し歩いて沢に降り、遡行開始。昨年はヤマビルに悩まされたが、この日は気温が低かったためか2匹現れただけだった。

山小屋の水源は沢の水を引いたドラム缶、ここからホースを伸ばして山小屋へ水を供給している。ここで採水と水温測定。このドラム缶は古びて錆びが出ているので、もう少しきれいな水源に整備されれば、と思う。水源の先は源流の趣で水量も少なく、沢幅も狭くなる。小滝を越え、水が消える前のツメで採水、小さなゴルジュを高巻き、そのまま植林地の急斜面を登って大倉尾根へ出る。駒止茶屋への急登が始まる手前の平坦地だった。このあたりはササ枯れが進み、ナツトウダイの群落が続く、ちょっと変な植生だった。



*ササ枯れと群生するナツトウダイ

見晴茶屋 11:40→一ノ沢水源 12:40→一ノ沢ツメ 13:00→大倉尾根 13:40→見晴茶屋 14:10

見晴茶屋に戻り、小屋の人の案内で南東面の湧き水(小屋でも使用)を採取、大倉まで降りて受付に3箇所採取した試料と水温データを渡し、本日の作業は終了。(磯部、北野、鈴木)

大倉屋で生ビールを飲みつつ、夕刻着いた人と合流して再び見晴茶屋に戻る。19:00の気象情報で「明日の降水確率が50%以上のためクリーンハイクは中止」になる。前夜祭は歌声喫茶の白井さんの司会、アコーディオンの生伴奏で大いに盛り上がった。(石田、磯部、青柳、山下、上野、鈴木)

塔ノ岳往復 5月30日(霧)

スタッフの皆さんはクリーンハイク中止の収拾作業のため早めに大倉に下り、林道のゴミ収集を行うとのこと。自山山行になった4人で、見晴茶屋を7:40に出て塔ノ岳を往復する。雨の予報だったが、雨は降らず霧が懸かった大倉尾根を登る。一本松手前で当日参加の植田さんに追い抜かれる。丹沢山往復の予定とすることで、塔ノ岳往復の我々はゆっくり登る。大倉尾根は整備が行き届いているが、新たに木道や木製階段が設置され

ていた。



*見晴茶屋



*木階段(堀山ノ家~花立へ)



*木道(天神尾根分岐付近)



*土砂流出(花立山荘下)



*花立山頂



*金冷し



*トウゴクミツバツツジ



*立ち枯れの気配 (塔ノ岳)



*ブナの立ち枯れ (塔ノ岳)



*シロヤシオ (塔ノ岳北側)



*水滴

花立を過ぎるとトウゴクミツバツツジの花盛り、赤紫の花と新緑が霧に包まれて幻想的な眺めだった。塔ノ岳の尊仏山荘でコーヒータイム兼昼食、丹沢山方面に少し下って満開のシロヤシオを眺めてから大

倉尾根を下った。大倉尾根には翌週の日沢ポッカ駅伝を回収、観音茶屋を過ぎたあたりで健脚の植田さんに追いつかれ、一緒に大倉に下った。大倉屋で「ヤマユリの会」と合同の反省会…皆様お疲れさまでした。(青柳、山下、上野、鈴木-植田-磯部)

見晴茶屋 7:40→花立山荘 9:45→塔ノ岳 10:25~11:25→花立山荘

12:00→見晴茶屋 13:45→大倉 14:30

*気になったこと

(1)塔ノ岳山頂でシカがバイケイソウを蹴飛ばしたり頭突きをしたり、自然がおかしくなると人間だけでなくシカまで切れやすくなるのだろうか。

(2)塔ノ岳山頂南面のブナの立ち枯れが進み、水無川本谷側への土砂流出が激しくなっている、ようだった。

[鈴木澄雄 写真&記]



*仲間の笑顔

2010クリーンハイク参加者

実行委員

高橋・萩原・渡辺(藤沢) 磯部(地平線) 三上・渡辺(こぶし) 吉崎(柴笛) 大用・鈴木・岩佐(川崎HC) 森谷(ナーゲル) 遅沢(川崎労山) 栗田(やま++) 大日方・市川(AC横浜) 伊藤・関根(横浜HC) 永井(カモの会) 千葉(みずなら) 北野(緑星) 早坂(山ブキ) 黒井(雪童) 渡辺(相模) 川上(おると) 新井(さがみ山友会)

県連委員

中山

救助隊

海輪、田村、宮澤、熊谷、鳥越、増田、末吉、小林、松本、雪竹、杉山、山本

一般参加者

神奈川大学ワンダーフォーゲル部

関口、与口、荒井、伊藤、幸路

山ゆりの会

稲本 大野 和田 豊留 田村 神保 加藤(良) 草野

(個人の部)

高橋、

川崎勤労者山岳会

遅沢

川崎ハイキングクラブ

大用

川崎柴笛クラブ

吉崎

アルパインクラブ横浜

小野、中田

横浜ハイキングクラブ

長井、深瀬、宮原、真壁、内田、浜谷、増田

横浜こぶしの会

渡辺、渡部、南雲、政田、高橋、石川、石渡

藤沢山の会

角田正、清水、池田、大井由、中河原、角田淑、神山、安藤、木村、太田、高居、佐々木愛、大野、加藤、大井工、萩原、高橋

小田原ナーゲル山の会

森谷

相模アルパインクラブ

大橋、椎名、大島、渡辺、田村

みずなら山の会

小川、阿部、川島、岡田、高橋、横手、藤本、佐藤、末吉、平林、田村、森、関、安江

緑星スキーと山の会

北野

カモの会

児玉、太田、井戸、永井、

雪童山の会

黒井、岡崎、小緑、樋浦、宮本、神谷

地平線の会

鈴木、磯部、石田、山下(わたすげ)、上野(むらやま山の会)、植田

やま++

柴田

山ブキの会

青柳、早坂

記載漏れがありましたらごめんなさい。

労山自然保護憲章

登山は、自然と関わりが深い「スポーツ・レクリエーション」であり、豊かで多様な自然の中で発展してきました。山岳自然は人為に対して極めてぜい弱であり、一度破壊されると容易に復元しない特性があります。ところが近年、山岳自然の荒廃がめだち、登山文化がそこなわれる状況が生まれています。

日本勤労者山岳連盟(労山)は創立(1960年)以来、登山者の使命として自然保護問題に正面から取り組み、各地で自然を破壊し登山を阻害する開発に反対してきました。また、「山からゴミを一扫しよう」と取り組んだクリーンハイク運動は、登山者のモラルを高め、世論を動かし、山のゴミは著しく少なくなってきました。

かつて山岳自然保護の主な課題は乱開発から自然を守ることにありました。しかし、今やオーバーユース等の利用者自身による問題や、地球温暖化、酸性雨・霧など地域・国境を越えた地球規模の環境問題も重視されるようになり、自然を汚染・破壊する原因は多様・複雑になってきました。

そこで私たちは、登山文化の継承発展と、山岳自然と登山者との新しい共存をめざし、ここに「労山自然保護憲章」を定めます。

- 1 登山活動を通して、自然を見る目をやしない、自然の変化をとらえ、山と地球規模の環境保全に寄与します。
- 2 山を汚さず、山をいためず、傷つけた山を復元す

る努力は登山者の務めです。

環境への影響を最小限にするため、「自然を傷つけない登山技術」を求め普及していきます。

- 3 多数が同時に行動する集団登山は自然への負担が大きいので、自然を傷つけないように創意工夫して取り組みます。
- 4 山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実にもとづいた判断で自然がそこなわれないよう努めます。
- 5 クリーンハイク運動に参加し、登山者のモラルを高め山からゴミを一扫します。そこでつちかった力で、さらに多面的な自然保護活動を広げていきます。
- 6 山を汚染しない排泄物の処理方法や自然環境に配慮した山小屋やトイレを考え、山域にふさわしい対策の実現をめざします。
- 7 自分の好きな山「心のふるさとの山」を持ち、山の自然を学び、地域との交流や山麓の文化に触れるなど、自らの登山スタイルをめざします。
- 8 登山道、山小屋など施設整備は、自然への負担を最小限にとどめることが大切です。それらの設置・運営にあたっては、国や自治体、住民や所有者、登山者の合意形成を求めていきます。
- 9 住民や利用者の声を無視した「入山規制」、「入山料」ではなく、その声を生かした自然の保全管理を進めるよう国や自治体、所有者に求めていきます。

2006年2月19日 日本勤労者山岳連盟

神奈川県勤労者山岳連盟加盟団体

	団体名	ホームページ・問い合わせ先
1	川崎勤労者山岳会	http://kawasaki.rousan.hp.infoseek.co.jp/ 問合せ先 = ホームページ参照
2	川崎ハイキングクラブ	http://homepage2.nifty.com/kawasaki_hc/ 問合せ先 = ホームページ参照
3	川崎柴笛クラブ	http://www.shibabue.com/page/page-1.htm 問合せ先 = ホームページ参照
4	アルパインクラブ横浜	http://acy.jpn.org/ 問合せ先 = ホームページ参照
5	横浜ハイキングクラブ	http://yokohamahc.web.infoseek.co.jp/index.html 問合せ先 = ホームページ参照
6	横浜こぶしの会	http://kobu-shi.sakura.ne.jp/ 問合せ先 = ホームページ参照
7	藤沢山の会	http://outdoor.geocities.jp/akio_saito21/ 問合せ先 = ホームページ参照
8	小田原ナーゲル山の会	http://nage1.jp/ 問合せ先 = ホームページ参照
9	相模アルパインクラブ	http://sagamiac.sakura.ne.jp/ 問合せ先 = ホームページ参照
10	みずなら山の会	http://makiyamaenchi.web.infoseek.co.jp/ 問合せ先 = ホームページ参照
11	緑星スキー山の会	問合せ先 = 県連ホームページ参照
12	さがみ山友会	http://www.geocities.jp/sagami_sanyukai/ 問合せ先 = ホームページ参照
13	こまくさH C	問合せ先 = 県連ホームページ参照
14	カモの会	http://www.kamonokai.com/ 問合せ先 = ホームページ参照
15	雪童山の会	http://www5e.biglobe.ne.jp/~yama/ 問合せ先 = ホームページ参照
16	地平線の会	http://www.geocities.jp/tiheisen2004/ 問合せ先 = ホームページ参照
17	やま++	http://yamaplappa.hustle.ne.jp/xoops/ 問合せ先 = ホームページ参照
18	山ブキの会	自然を愛し仲間と楽しむ。入会条件無し。 問合せ先 = 県連事務局
19	山岳素行童人メーグリ家	フリー、沢、アルパインクライミング等 問合せ先 = 県連事務局
20	山の会 おるた!	オールラウンド(アルパイン・沢・ハイキング) 問合せ先 = 県連事務局

報告集目次

実行委員長挨拶

クリーンハイク実行委員長 渡辺三男 2

清掃集計表・総参加者 2

水質調査報告・参加者 3

見晴茶屋前夜祭参加者 3

丹沢山域水質調査結果(過去19年間の推移) 4

ゴミの集計(1986年~2010年) 5

参加各会の感想文と写真

山ゆりの会	7
藤沢山の会	8
みずなら山の会	10
カモの会	12
横浜ハイキングクラブ	13
横浜こぶしの会	15
地平線の会・山ブキの会・東京都連メンバー	16
参加者	19
労山自然保護憲章	19
神奈川県勤労者山岳連盟加盟団体	20

第33回丹沢クリーンハイク2010報告集

2010年9月27日発行 600部

神奈川県勤労者山岳連盟自然保護委員会 クリーンハイク実行委員長 渡辺三男

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2永田ビル3F TEL&FAX 045-434-2726

http://www.k-rouzan.net/

